

提出意見とそれに対する市の考え方

案件名	矢板市子ども読書活動推進計画（第三期）
-----	---------------------

今回公表しました計画案に対する貴重なご意見ありがとうございました。
 お寄せいただいたご意見を十分検討した結果、それに対する市の考え方は、次のとおりです。
 なお、類似の意見については、内容ごとにまとめさせていただきました。

項目	意見の内容	意見に対する考え方
不読率の改善について	本を読んで感想文を書いてもらい、評価し、「読書ポイント」を与えてはどうか。	市立図書館において、「読書通帳」を発行し、家や学校で読んだ本のタイトルと感想を記録し、20冊読むと認定証の交付及びプレゼントを渡す事業を行っております。
体系的総合計画について	子供にどんな本が良いか、読んで欲しいか学年別に「推薦本選択」から始まり、読書を薦め刺激を与えてくれる「地域の文化人・社会に尽くしている先輩」の講話を計画する、小中学校教育の教科書から「偉人本・文学本・冒険本・歴史本」等を読書させるか、最低読んでもらいたい本や何冊読むか、何回感想文を書くか、読書マスター制等を具体的に計画することがよいかと考える。	学校図書事務員作成の「図書だより」において、発達段階・テーマ別に本の紹介をしております。 また、読書週間等を活用し読書一万・五千ページ活動の推進や多読賞表彰等に取り組むことで、読書に親しめるような環境整備を行います。
読み聞かせ奉仕活動について	校内において、事前に本を読み録音したものを昼食後10分程度校内放送する児童・生徒会活動を推進する、高学年	学校において、図書委員・読書ボランティアによる本の読み聞かせを定期的に行っております。

	<p>が低学年に出前で読み聞かせる機会を作る、幼稚園で幼児に童話読み聞かせる機会を作る等の本との関りをもたせるのも重要と考える。</p>	<p>また、生徒によるブックトークを取り入れ、読書への興味・関心を高めながら読書習慣を身に付けられるよう支援をしていきます。</p>
<p>自己管理について</p>	<p>学校・市立図書館を知り「今月はこの本を読む」と自己目標設定、毎月読み切る習慣づくり、常に手元に本を置く習慣、先生が読書している姿を見せる教育効果を知る。</p>	<p>市立図書館が小中学校へ団体貸出等を行い、学級文庫の設置をすることで本を手に取りやすい環境づくりを行っております。</p> <p>また、ノーメディアデーの一環として、自分で目標設定し読書するなどの取り組みの周知に努めます。</p>
<p>意見総数</p>	<p>4件</p>	